

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年12月8日 (2016.12.8)

【公開番号】特開2015-87719(P2015-87719A)

【公開日】平成27年5月7日 (2015.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2015-030

【出願番号】特願2013-228560(P2013-228560)

【国際特許分類】

G 0 2 B 21/36 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 21/36

G 0 6 T 1/00 4 3 0 B

G 0 6 T 1/00 4 3 0 H

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月25日 (2016.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

試料が載置されるステージと、

瞬間光を照射する光出射手段と、

前記ステージ上の前記試料と対峙するように配置された対物レンズを含む導光光学系と

、

前記導光光学系によって導光された前記試料の光像を撮像する撮像素子と、

前記試料に対する前記対物レンズの視野位置を所定の速度で移動させる駆動部と、

前記光出射手段を制御する制御部と、を備え、

前記撮像素子は、複数の画素列を有し、所定のフレームレートで順次撮像していく二次元撮像素子であり、

前記速度は、少なくとも前記フレームレートに基づいて設定された速度であり、前記撮像素子によって連続して撮像される前記試料の二つの領域の一部が互いに重畳するように設定された速度であることを特徴とする画像取得装置。

【請求項 2】

前記速度は、少なくとも前記撮像素子の前記画素列数に基づいて設定された速度であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像取得装置。

【請求項 3】

前記速度は、少なくとも前記導光光学系の光学倍率に基づいて設定された速度であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像取得装置。

【請求項 4】

前記速度は、少なくとも前記撮像素子の前記画素列の画素幅に基づいて設定された速度であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の画像取得装置。

【請求項 5】

前記速度は、前記二つの領域の一部が互いに重畳する重畳領域に対応する前記撮像素子の画素列数に基づいて設定された速度であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の画像取得装置。

【請求項 6】

前記撮像素子は、前記画素列の全てが露光していることを示すトリガ信号を前記制御部へ出力し、

前記制御部は、前記撮像素子から出力された前記トリガ信号に基づいて、前記画素列の全てが露光している期間中に前記光出射手段から前記瞬間光を照射させることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の画像取得装置。

【請求項 7】

試料が載置されるステージと、

瞬間光を照射する光出射手段と、

前記ステージ上の前記試料と対峙するように配置された対物レンズを含む導光光学系と

、
前記導光光学系によって導光された前記試料の光像を撮像する撮像素子と、
前記試料に対する前記対物レンズの視野位置を所定の速度で移動させる駆動部と、
前記光出射手段を制御する制御部と、を備えた画像取得装置の画像取得方法であって、
前記撮像素子として、複数の画素列を有し、所定のフレームレートで順次撮像していく二次元撮像素子を用い、

前記速度を、少なくとも前記フレームレートに基づいて、前記撮像素子によって連続して撮像される前記試料の二つの領域の一部が互いに重畳するように設定することを特徴とする画像取得装置の画像取得方法。

【請求項 8】

前記速度を、少なくとも前記撮像素子の前記画素列数に基づいて設定することを特徴とする請求項 7 に記載の画像取得装置の画像取得方法。